

# 会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	新幹線・まちづくり課
会議名 (審議会等名)	嬉野市地域公共交通活性化協議会		
開催日時	令和6年2月21日(水) 13:30~14:45		
開催場所	嬉野市役所嬉野庁舎3階 2-3-1 会議室		
会議の公開の可否	ⓐ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	早瀬会長、井上副会長、北川委員、桑原委員、山下委員、宮崎委員、宮崎委員、山口崇委員、田中丸委員、田島委員、山口守委員、吉住委員、庄司委員、山本委員、草野委員	
	事務局	新幹線・まちづくり課長、副課長、主査 各1名 (株)建設技術研究所 主幹	
	その他	【オブザーバー】 九州運輸局佐賀運輸支局 首席運輸企画専門官 佐賀県さが創生推進課 係長	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	(1)令和5年度補正予算(案)について (2)令和6年度協議会事業計画(案)及び当初予算(案)について (3)令和5年度地域公共交通確保維持事業(乗合タクシー春日線・大野原線運行事業)実績について		
審議等の内容	別紙のとおり		

# 審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	新幹線・まちづくり課
議 題	(1)令和5年度補正予算(案)について・・・協議 (2)令和6年度協議会事業計画(案)及び当初予算(案)について・・・協議 (3)令和5年度地域公共交通確保維持事業(乗合タクシー春日線・大野原線運行事業)実績について・・・報告		
内 容	議題にそった説明		
審議経過	事務局	1. 開会 事務局により開会。	
		2. あいさつ 会長あいさつ。	
	事務局	3. 嬉野市地域公共交通活性化協議会 (1) 令和5年度補正予算(案)について  事務局が以下のとおり説明し、賛成多数で承認された。  ・佐賀県の市町支援策「くらしを支える移動手段支援事業」に取り組んでおり、嬉野市では出前講座の実施やオーダーメイド時刻表を作成することで事業を進めている。この取り組みにより65万円の支援金が支払われることから、歳入の諸収入に充てており、歳出には、利用促進の取組に係る費用で2万円、取組広報費として3万円、予備費に60万円を充てており、運行費用や待合環境の整備に使用する予定。	
	事務局	(2) 令和6年度協議会事業計画(案)及び当初予算(案)について  事務局が以下のとおり説明し、賛成多数で承認された。  ・事業計画について、大野原線は利用が低迷しており、利用が全く見られない便がある。現行の定時運行では過剰サービスの状態にあると考えられることから、デマンド型への転換を検討したい。	

	<p>・当初予算について、令和5年10月末のタクシー運賃が改定されたことから委託料の単価が見直し（増加）となり、前年度比123万円の増となった。</p> <p>・令和6年度も佐賀県の「暮らしを支える移動手段支援事業」に取り組む考えであり、支援金が支払われる見込み。</p> <p>事務局 (1) 令和5年度地域公共交通確保維持事業(乗合タクシー春日線・大野原線運行事業)実績について</p> <p>事務局が以下のとおり報告した。</p> <p>・今年2月から運賃を100円引き下げており、利用しやすい環境を整えた。路線を維持していくためには新規利用の確保が必要となるため、出前講座の実施やオーダーメイド時刻表の作成、沿線地域への定期的な時刻表を配布するなどして、市民の意識を公共交通に向けていきたい。春日線については、福祉バスと重複する区間があるので、福祉課と相談しながらサービスの統合を検討し、大野原線については国庫補助要件を下回り、利用がない便も見られる。現在の定時定路線は過剰サービスとも考えられるので、デマンド型への意向を検討するなど、運行形態を見直す必要がある。</p> <p>委員 事務局からの説明がある通り、春日線・大野原線ともに見直しが必要と思うので、検討を進めていただきたい。</p> <p>委員 出前講座については、老人クラブで周知を図る。新幹線・まちづくり課に連絡してもらうように伝える。</p> <p>4. 閉会 事務局により閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
その他	この後、嬉野市地域公共交通会議を開催